



安全・安心を誇れる群馬県の実現に向けた取り組みについて



群馬県警察本部
生活安全部参事官兼生活安全企画課長 警視 北爪 雅邦

1 はじめに

群馬県警では、平成26年の重点目標の指針として、「安全・安心を誇れる群馬県の実現～県民の期待と信頼に応える力強い警察～」を掲げ、全職員が一丸となって、犯罪の起こりにくい安全で安心して暮らせるまちづくりを推進しています。

本稿では、本県でこれまで取り組んできた対策の状況等を紹介させていただきます。

2 群馬県の概要

群馬県は、関東地方北西部に位置し、人口は約200万人です。

大部分が山地の内陸県で、北東部は足尾山地、日光火山群、北西部は、三国山脈、南西部は関東山地が所在するほか、中部には、赤城山、榛名山等の山岳が存在しています。

県内には、日光国立公園、尾瀬国立公園、上信越

高原国立公園、妙義荒船佐久高原国定公園が存在し、尾瀬、谷川岳、浅間山のほか、伊香保、草津、水上等の温泉地が存在しています。

交通は、上越新幹線・長野新幹線のほか、関越自動車道、上信越自動車道、北関東自動車道等が走り、都内や新潟、長野、茨城県方面等とのアクセスが便利な地理的条件にあります。

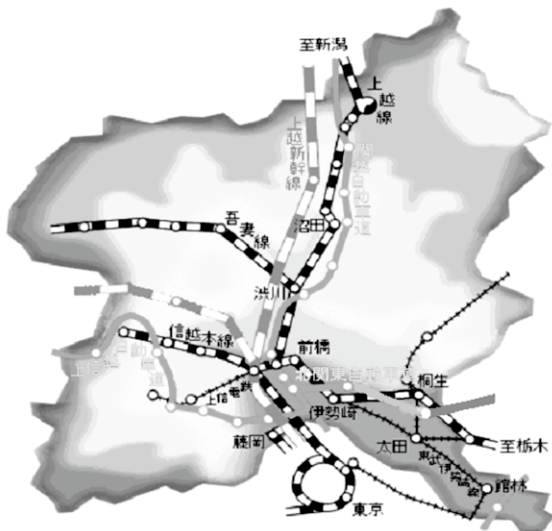
なお、参考ですが、明治維新直後の明治5年、政府が富国強兵政策のもと、外貨獲得の手段と生糸生産の近代化を図るために設立された官営の製糸工場「富岡製糸場」とほか3資産で構成される絹作業遺産群を、世界遺産候補として、平成25年1月に政府がユネスコに推薦書を提出し、既に、ユネスコの諮問機関であるイコモスによる現地調査が行われており、平成26年に評価結果の勧告を受けた後、世界遺産登録の可否が決定される予定です。

3 群馬県の犯罪情勢

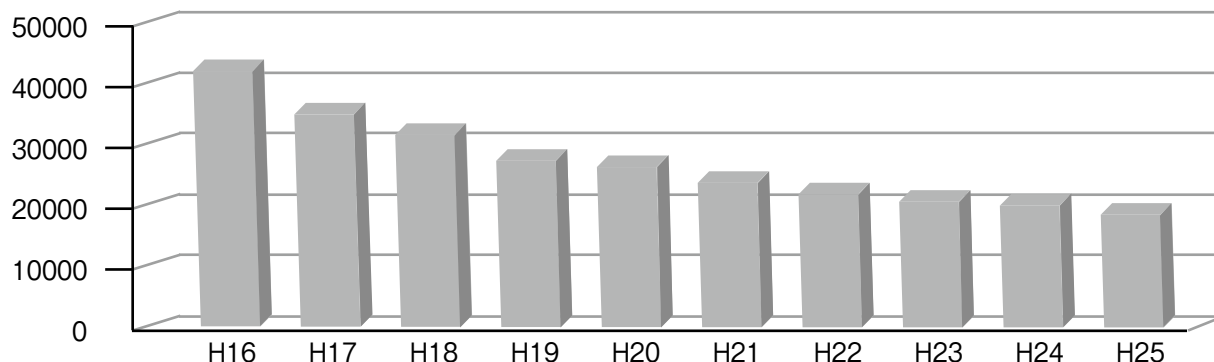
平成に入り、刑法犯認知件数が増加傾向となり、全国では、平成14年に最多を記録しましたが、群馬県では、平成16年に42,643件と統計史上最高最高を記録しました。

以降、犯罪の抑止と検挙の両面から犯罪抑止総合対策を官民一体となって強力に取り組んだ結果、平成17年以降、9年連続で減少させることができ、さらに、平成25年には、20,000件以下まで減少させることができ、地安が比較的安定していた昭和後期から平成初期の水準まで回復させています。

しかし、刑法犯認知件数は減少傾向にあるものの、



刑法犯認知件数の推移



年次	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
認知件数	42,643	35,453	32,060	27,769	26,730	24,110	22,211	20,981	20,330	18,820
増減数	1,890	- 7,190	- 3,393	- 4,291	- 1,039	- 2,620	- 1,899	- 1,230	- 651	- 1,510
増減率	4.6%	- 16.9%	- 9.6%	- 13.4%	- 3.7%	- 9.8%	- 7.9%	- 5.5%	- 3.1%	- 7.4%

子どもや女性を対象とした犯罪や声かけ事案が断続的に発生しているほか、近年は、特に、振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺が増加に転じており、体感治安を悪化させるこれら犯罪の未然防止・検挙に向け、現在も、継続して各種対策に取り組んでいるところです。

4 犯罪抑止に向けた取組み

以上、本県における犯罪情勢について、簡単に述べさせていただきましたが、続いて、本県の犯罪抑止に向けたこれまでの取組みの概要について、紹介させていただきます。

■官民一体となった犯罪抑止活動への取組み

○本県では、県内の刑法犯認知件数が増加したことを踏まえ、警察の活動だけではなく、県民・事業者・行政が一体となって地安回復に取り組んで行く必要があるとの観点から、平成16年6月16日に「群馬県犯罪防止推進条例」が制定されました。

○そして、翌平成17年から、「毎月16日は県民防犯の日」として、関係機関・団体、防犯ボランティア等の連携強化と県民の自主防犯意識高揚のため、各種防犯対策を実施するとともに、平成18年からは、四季ごとに年4回、「県民防犯運動」を展開し、関係機関・防犯ボランティアと連携しながら、安心して暮らせる地域社会の実現のため、集中的に防犯対策を推進しています。

■街頭防犯カメラの普及促進

○街頭での「見守りの目」を増やすため、各警察署に

において自治体に働きかけ、街頭防犯カメラの普及促進を進めておりますが、その中心となっているのが、群馬大学工学部が開発した防犯カメラシステム「e自警カメラ」です。

○「e自警」とは、パソコンなどの電子技術(エレクトリック)を利用して、地域の安全を守る自警団を意味する略称であり、「地域社会の安全のため、一人一人が自分の家の前などを見守る手段として、安価なe自警システムを活用する」という理念の下、県内各地で広がりを見せています。

○また、e自警カメラを防犯灯内部に設置した「e自警灯カメラ」も開発され、計画的に導入・設置する自治体も増加しており、例えば、新島襄の出身地である安中市では、地域の活性化と安全確保に向け、『裏・城ヒストリート安全・安心モデルタウン事業』に組み込み、防犯カメラと街路灯の設置を促進しています。

■「ぐんま防犯フェア」の開催

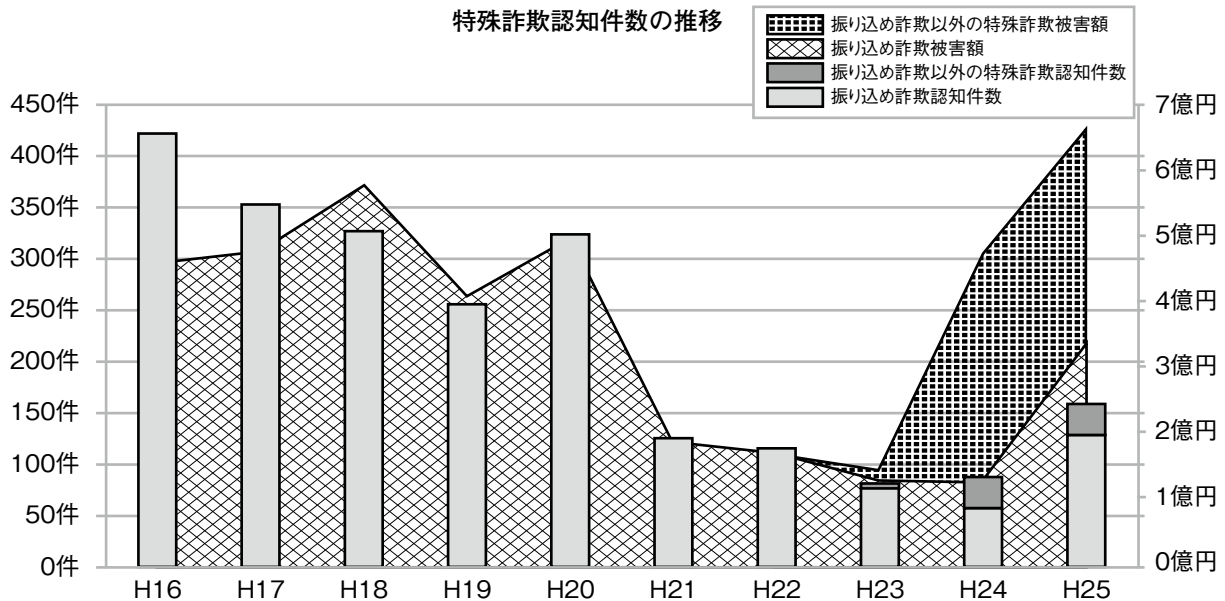
○本県では、「地域防犯力」の向上を目指し、最新の優れた防犯機器・用品を展示しながら、防犯意識の啓発を目的としたイベントを、県・警察・防犯協会の主催のもと、毎年開催しています。

○なお、本フェアにおいては、群馬県防犯設備協会の御協力をいただき、防犯錠や防犯カメラ、防犯ガラス等を県民に紹介するなどしていることを申し添えます。

■重層的ネットワークの構築

○本県では、専門的知識に基づく助言等を警察活動

特殊詐欺認知件数の推移



【参考】

平成25年の特殊詐欺認知件数・被害金額	161件	約6億5,380万円
※振込詐欺	128件	約3億3,360万円
振込詐欺以外の特殊詐欺	33件	約3億2,020万円

に反映するため、各種団体・企業等との連に努めており、具体的には、薬剤師会、警備業協会、運輸会社、携帯電話各社のほか、住宅メーカー、病院関係等と連携し、ハード・ソフトの両面からの防犯対策を推進しています。

5 当面の課題への取組み

・特殊詐欺被害防止対策の推進

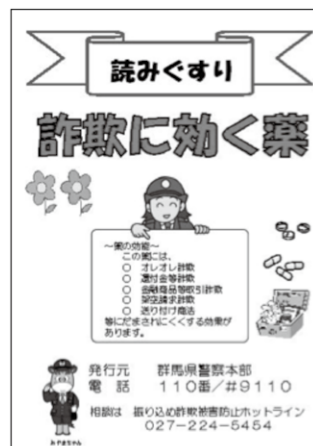
ア 現状

○本県における特殊詐欺被害は、近年、減少傾向にありましたが、平成24年に、金融商品等取引名目の詐欺被害が急増し、以来、増加傾向に転じ、平成25年には、親族を騙ったオレオレ詐欺被害が増加しました。

イ 対策

①現状を踏まえた広報啓発資料の作成・活用～『詐欺に効く薬』の作成・活用

○被害状況を検証すると、被害者のほとんどが高齢者で、これまでの広報啓発によ



り、特殊詐欺についての何らかの知識を有しているのにもかかわらず騙されているという実態を踏まえ、従来の高齢者を対象とした対策だけでなく、子や孫など、若い世代を含めた対策も必要と考え、改めて、広報・啓発資料『詐欺に効く薬』を作成し、警察だけではなく、企業や金融機関等を通じ、広く若い世代に働きかけを行っております。

○なお、同資料では、実家の親御さん宅を含め、直接電話を受けないための電話機対策のほか、若手世代による財産管理も視野に入れた対策の必要性も折り込んでおります。

②金融機関による「振り込め詐欺等特殊詐欺被害防止宣言」

平成25年5月24日、金融機関防犯連絡協議会連合会の総会において、「振り込め詐欺等特殊詐欺被害防止宣言」を決議し、県内約960店舗の金融機関において、宣言店としての看板を掲出し、被害防止活動に取り組み、平成25年10月末現在の被害阻止率は全国1位という結果をもたらしました。

③その他の主な取組み

○「危険度チェックキャンペーン」の実施

県、防犯協会と連携し、振り込め詐欺被害に遭わないための意識を高揚するため、クイズ型式で、「あな

たの危険度チェックキャンペーン」を実施し、広報啓発に努めました。

- 被害防止啓発用アニメーションDVDの作成・活用
県内の専門学校及び同校学生の協力を得て、実際の手口をもとにしたアニメーションDVDを作成し、各種防犯講話等で活用しております。

- 被害防止通帳ケースの作成

群馬県金融機関防犯連絡協議会連合会と連携し、特殊詐欺被害を訴える内容が表示された通帳ケースを作成し、金融機関を通じて配布し、啓発を図りました。

- 電話機用ホップの作成配布

電話を受けた際、特殊詐欺への警戒心を喚起することを目的に、本県のゆるキャラ「ぐんまちゃん」をデザインした注意喚起のホップカードを作成・配布しております。

・子ども・女性を守る活動の推進

- 本県では、子どもと女性の安全確保対策に重点をおき、平成25年に「子ども・女性安全対策課」を新設しています。

○なお、同課は、性犯罪等に発展するおそれのある子どもや女性に対する声かけ事案等に対する先制予防的活動を主として行う「子ども・女性安全対策係」と、ストーカー事案等に的確に対応する「ストーカー・配偶者暴力対策係」で構成し、県内で発生するこの種事案に迅速・的確に対応しています。

6 むすびに

これまでも各種対策に取り組んできたところですが、治安情勢は依然として厳しい状況にあることに加え、現代社会は、特殊詐欺やインターネット犯罪等の増加が見られるように、人と人との絆が、時代とともに希薄化しているように感じられます。

安全で安心して暮らせる社会は全ての国民の願いであり、これからも真に安心して暮らせるまちづくりに向け、自治体、企業、ボランティア、そして、地域住民との絆を深め、県民が真に望む活動を展開することにより、「安全・安心を誇れる群馬県の実現」に邁進して行く所存であります。



〈アニメーションDVDのコマ〉



〈電話機用ホップカードの状況〉

